

2026ヒューマンコンサート

あきらめない心

～ ハンデの壁を超えて奏で続ける感動のメロディ ～

元パラリンピック水泳日本代表

伊藤 真波さん

～ 講演 & バイオリン演奏 ～

交通事故で右腕を切断するというハンディキャップを背負いながらも
看護師の夢を諦めなかった歩みを語る講演を中心に、義手で奏でる
バイオリンで感動を届けます。

2026年2月1日(日)

午後 2 時開演 (午後1時15分開場予定)

大東市立総合文化センター多目的小ホール(定員200名)

参加協力券

500円 (当日集金)

【参加協力券配布先】

人権啓発ネットワーク大東事務局(大東市人権室内)

総合文化センター2階事務所

生涯学習センター「アクロス」

野崎人権文化センター

北条人権文化センター

電子申請

【後援】

大東市教育委員会

【協力】

大阪産業大学

参加協力券配布開始日 12月19日(金)

*要約筆記・手話通訳を必要の方は
1月14日(水)までに申し込み要。

電子申請は
こちらからー



ヒューマンコンサートは私たちが企画しました！！

大阪産業大学 経済学部 2年生（菊地真理ゼミナール）



私たちは「みんなが大切にされる社会(人権)」について考えるコンサートを企画しています！

今回は、事故で片腕を失いながらも、あきらめずに看護師を目指し、バイオリニストとしても舞台上に立ち続ける、伊藤真波(いとう まなみ)さんをお招きします。

伊藤さんのお話や演奏を通して「困難に向き合う勇気」と「お互いを思いやり支え合うこと」の大切さを学ぶことができます。誰もが自分らしく生きられる社会とは何かを、一緒に考える時間をつくれます。ぜひお越しください！

Gallery



Profile

伊藤 真波(元パラリンピック水泳日本代表)

バイオリニスト、元パラリンピック水泳日本代表。1984年、静岡県生まれ。5歳水泳、7歳からバイオリンを始める。

幼いころから看護師に憧れ、静岡県立清水西高等学校衛生看護科に入学。

その後、静岡県医師看護学校で学んでいた20歳の時に交通事故に遭い、右腕を切断する。看護師用の義手を製作し、神戸百年記念病院に入職。

看護師として働く傍ら、水泳選手としても活躍し、2008年北京パラリンピック、2010年アジアパラ競技大会などで好成績を収める。2015年に神戸記念病院を退職。2020年東京パラリンピックでは、静岡県の聖火ランナー、開会式でのバイオリン演奏を務めた。

